



平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成25年6月12日

配当支払開始予定日

平成25年7月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	18,298	6.7	598	32.6	494	21.7	206	323.3
24年10月期第2四半期	17,157	△2.2	450	△41.1	406	△44.9	48	△85.0

(注)包括利益 25年10月期第2四半期 213百万円 (301.3%) 24年10月期第2四半期 53百万円 (△83.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第2四半期	17.24	17.17
24年10月期第2四半期	4.07	4.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年10月期第2四半期	26,298	7,659	28.9	633.03
24年10月期	23,802	7,536	31.4	622.97

(参考)自己資本 25年10月期第2四半期 7,599百万円 24年10月期 7,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年10月期	—	7.50	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	15.7	1,270	77.0	1,200	102.1	660	507.6	55.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細については、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年10月期2Q	12,688,000 株	24年10月期	12,688,000 株
25年10月期2Q	683,545 株	24年10月期	688,445 株
25年10月期2Q	12,000,124 株	24年10月期2Q	11,999,670 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善、政府による経済対策および金融政策の効果などを背景として、消費マインドが改善されるなど、景気回復期待が一層高まる状況となりました。一方で、欧州財政問題の長期化や海外景気の下振れ懸念により、依然として先行きに対する不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは店舗運営力の強化および接客・サービスレベルの向上に取り組むとともに、「日常的エンターテイメント」をコンセプトに新しい発見や感動を味わうことができる魅力ある店舗を目指し、商品力の強化とライフスタイルを意識した提案性の高い売場づくりに注力してまいりました。この「ライフスタイルの提案の場」を追求した形として、平成24年11月に茨城県においては初出店となる「蔦屋書店ひたちなか店」（茨城県ひたちなか市：1,819坪）、平成24年12月には蔦屋書店の新たな旗艦店として既存店を大規模増床リニューアルした「蔦屋書店新潟万代」（新潟市中央区：1,200坪）のオープンに続き、平成25年3月に宮城県においては初出店となる「蔦屋書店仙台泉店」（宮城県仙台市泉区：3,000坪）をオープンいたしました。同店は日本最大の複合書店として、「情報」を究極的に品揃えすることはもちろん、情報とマッチしたツールを数多く取り揃える新しい生活提案の場となっております。蔦屋書店で過ごす時間が新しいライフスタイルとなるべく店舗価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18,298百万円（前年同期比106.7%）、営業利益598百万円（前年同期比132.6%）、経常利益494百万円（前年同期比121.7%）、四半期純利益206百万円（前年同期比423.3%）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間末のグループ合計店舗数は76店舗（前年同四半期末は75店舗）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの主軸である蔦屋書店事業において、書籍・文具の売上が伸長し、レンタルでは新作・オリジナル商品を中心とした品揃えの強化により付加価値を創造し、併せて貸出料金の見直しをしたことにより売上が回復傾向となっております。また、超大型店の売上が寄与し、売上高前年同期比は106.7%（既存店100.6%）となりました。

利益面につきましては、仕入原価の見直し、店舗運営の見直しに取り組んだ結果、売上総利益は、前年同期比107.2%となりました。また、当第2四半期連結累計期間において、2店の超大型新店の出店や既存店1店の大規模リニューアルに伴い販売費及び一般管理費は、前年同期比104.9%と増加しましたが、営業利益は前年同期比で32.6%増加し598百万円となりました。経常利益につきましては、持分法による投資損失が前年同期より64百万円増加しましたが、前年同期比21.7%増の494百万円となりました。四半期純利益につきましては、固定資産の売却損として60百万円を特別損失に計上したものの、前期において2店の減損損失189百万円を計上したため、前年同期比323.3%増加し206百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① 蔦屋書店事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17,812百万円（前年同期比106.9%）、セグメント利益は569百万円（前年同期比139.2%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍109.2%（既存店100.8%）、文具112.8%（既存店101.5%）、レンタル100.0%（既存店100.1%）、販売用CD 99.3%（既存店93.9%）、販売用DVD 103.7%（既存店98.2%）となりました。書籍は、売上上位商品の充足率を強化するとともに定番商品の入替えや品揃えの強化により売上の底上げを図ったこと、および超大型新店が貢献したことにより売上が伸びました。文具は、定番商品の売上が好調であったほか、話題商品、趣味文具、生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えを強化したこと、および超大型新店が売上に貢献いたしました。レンタルは、新作・オリジナル商品を中心に品揃えの強化を図ることで付加価値を創造し、併せて貸出料金の見直しをしたことにより、売上が回復傾向となっております。販売用CD・DVDは、市場全体の縮小傾向が続いていることから、引き続き在庫効率化と商品提案力の強化に取り組みました。

なお、平成25年1月31日付で、既存店1店舗を閉店しております。

② その他

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高492百万円（前年同期比98.0%）、セグメント損失は12百万円（前年同期比13百万円減）となりました。

中古買取販売事業は、売上高前年同期比96.8%となりました。利益率の高いリサイクル商品（古本）の品揃えの強化および店舗運営力の向上に努めたものの、リサイクル商品（古本）の売上高は前年同期比98.8%となりました。一方、新品ゲームにおいては人気の新作タイトルの発売があったものの、売上高前年同期比は96.9%、中古ゲームでは、売上高前年同期比94.8%となりました。

スポーツ関連事業は、会員数が順調に増加し、会員収入は売上高前年同期比104.5%、イベント売上が売上高前年同期比126.5%と好調に推移したことにより、売上高前年同期比は103.5%となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前連結会計年度末比2,495百万円増加し、26,298百万円となりました。これは主に現金及び預金が432百万円増加、また新規出店等に伴い商品が1,275百万円、建物及び構築物が104百万円、リース資産が718百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2,372百万円増加し、18,638百万円となりました。これは主に、買掛金が855百万円、短期借入金が300百万円、リース債務が708百万円、長期借入金が369百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比122百万円増加し、7,659百万円となりました。これは主に、利益剰余金が116百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ432百万円増加し、1,111百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は376百万円(前年同期比1,677百万円資金減)となりました。これは主に、前第2四半期連結累計期間の期末日が金融機関休業日であり、仕入債務等の決済1,721百万円が翌営業日に繰越となったこと、および新規出店に伴い、たな卸資産が前年同期に比べ338百万円増加したことによるものであります。なお、前第2四半期連結累計期間の期末日が金融機関休業日であったことによる影響を勘案した前年同期比は、37百万円資金増であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は332百万円(前年同期比323百万円資金減)となりました。これは主に、新規出店に伴う敷金の差入れによる支出が154百万円あったこと、既存店1店のリニューアルに伴い有形固定資産の取得による支出が269百万円あったこと、および関係会社の増資に伴う株式の取得による支出が98百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は388百万円(前年同期比767百万円資金増)となりました。これは主に、新規出店に伴う長期借入れによる収入が800百万円増加したこと、および短期借入金の純増減額が前年同期に比べ100百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

蔦屋書店事業におきましては、レンタルの新作・オリジナル商品を中心に品揃えの強化を図ることで付加価値を創造し、併せて貸出料金の見直しをしたことにより、売上が回復傾向となっております。また、当第2四半期連結累計期間にオープンした超大型店「蔦屋書店新潟万代」「蔦屋書店ひたちなか店」「蔦屋書店仙台泉店」が寄与し、大幅な増収を見込んでおります。

これにより、通期業績予想につきましては、平成24年12月6日に公表しましたとおり、売上高38,300百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益1,270百万円(前年同期比77.0%増)、経常利益1,200百万円(前年同期比102.1%増)、当期純利益660百万円(前年同期比507.6%増)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	689,141	1,121,591
売掛金	170,846	207,939
商品	8,082,999	9,358,551
前払費用	294,222	294,214
繰延税金資産	69,228	75,265
未収入金	471,019	413,818
その他	71,109	65,057
貸倒引当金	△277	△294
流動資産合計	9,848,289	11,536,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,883,456	2,987,794
リース資産(純額)	3,124,191	3,843,186
土地	1,528,676	1,487,798
その他	71,199	65,742
有形固定資産合計	7,607,523	8,384,522
無形固定資産		
のれん	139,605	101,636
その他	51,634	42,331
無形固定資産合計	191,240	143,967
投資その他の資産		
繰延税金資産	211,995	208,805
敷金及び保証金	3,853,717	3,877,174
その他	2,091,498	2,149,419
貸倒引当金	△1,420	△1,420
投資その他の資産合計	6,155,791	6,233,979
固定資産合計	13,954,555	14,762,469
資産合計	23,802,845	26,298,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,306,411	4,162,288
短期借入金	2,245,040	2,545,040
1年内返済予定の長期借入金	1,166,861	1,255,265
リース債務	469,173	560,070
未払法人税等	152,712	253,231
賞与引当金	70,000	80,000
未払金	431,179	412,321
その他	1,162,166	1,102,469
流動負債合計	9,003,543	10,370,686
固定負債		
長期借入金	3,355,735	3,725,203
リース債務	2,860,849	3,478,280
資産除去債務	426,057	429,348
持分法適用に伴う負債	37,882	12,057
退職給付引当金	106,090	103,450
役員退職慰労引当金	68,278	68,278
長期未払金	271,884	325,928
長期預り敷金保証金	135,646	125,704
固定負債合計	7,262,424	8,268,252
負債合計	16,265,967	18,638,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,718	2,303,691
利益剰余金	3,486,542	3,603,213
自己株式	△308,004	△305,814
株主資本合計	7,489,626	7,608,460
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	△14,243	△9,248
その他の包括利益累計額合計	△14,243	△9,248
新株予約権	35,640	32,969
少数株主持分	25,853	27,492
純資産合計	7,536,877	7,659,674
負債純資産合計	23,802,845	26,298,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	17,157,154	18,298,750
売上原価	11,725,735	12,474,732
売上総利益	5,431,418	5,824,018
販売費及び一般管理費	4,980,545	5,225,953
営業利益	450,872	598,064
営業外収益		
受取利息	16,650	15,305
その他	24,215	37,258
営業外収益合計	40,866	52,563
営業外費用		
支払利息	77,576	83,775
持分法による投資損失	7,678	72,175
営業外費用合計	85,254	155,951
経常利益	406,484	494,676
特別損失		
減損損失	189,961	—
固定資産売却損	—	60,081
特別損失合計	189,961	60,081
税金等調整前四半期純利益	216,522	434,594
法人税、住民税及び事業税	191,615	231,602
法人税等調整額	△27,615	△5,522
法人税等合計	163,999	226,079
少数株主損益調整前四半期純利益	52,523	208,514
少数株主利益	3,651	1,638
四半期純利益	48,871	206,875

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52,523	208,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	677	4,995
その他の包括利益合計	677	4,995
四半期包括利益	53,201	213,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,549	211,871
少数株主に係る四半期包括利益	3,651	1,638

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	216,522	434,594
減価償却費	418,352	430,529
減損損失	189,961	—
のれん償却額	37,969	37,969
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△88	17
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,000	10,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,015	△2,640
受取利息及び受取配当金	△16,650	△15,305
支払利息	77,576	83,775
固定資産売却損益(△は益)	—	60,081
持分法による投資損益(△は益)	7,678	72,175
売上債権の増減額(△は増加)	75,793	△37,092
たな卸資産の増減額(△は増加)	△937,039	△1,275,551
仕入債務の増減額(△は減少)	2,377,511	855,877
未払消費税等の増減額(△は減少)	△806	△40,080
長期前払費用の増減額(△は増加)	49,249	△82,511
その他	25,631	61,172
小計	2,482,648	593,012
利息及び配当金の受取額	554	533
利息の支払額	△75,936	△84,272
法人税等の支払額	△353,566	△132,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,053,699	376,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,418	△269,981
有形固定資産の売却による収入	—	38,335
無形固定資産の取得による支出	△1,010	—
関係会社株式の取得による支出	—	△98,000
敷金及び保証金の回収による収入	145,946	146,137
敷金及び保証金の差入による支出	△145,115	△154,822
その他	6,027	6,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,569	△332,279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	300,000
長期借入れによる収入	300,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△542,235	△642,128
リース債務の返済による支出	△247,697	△278,964
配当金の支払額	△89,354	△90,566
その他	△19	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△379,305	388,345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,665,825	432,449
現金及び現金同等物の期首残高	1,085,809	679,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,751,634	1,111,591

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	16,655,992	501,161	17,157,154	—	17,157,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,671	1,671	△1,671	—
計	16,655,992	502,833	17,158,825	△1,671	17,157,154
セグメント利益	409,358	683	410,042	40,830	450,872

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

蔦屋書店事業セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を減損損失(189,961千円)として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	17,807,678	491,071	18,298,750	—	18,298,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,551	1,848	6,400	△6,400	—
計	17,812,230	492,920	18,305,150	△6,400	18,298,750
セグメント利益又は損失(△)	569,946	△12,712	557,234	40,830	598,064

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴うセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

セグメントの名称		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)		
		売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
蔦屋書店事業	書籍	8,194,353	44.8	109.2
	レンタル	3,486,782	19.0	100.0
	文具	1,719,041	9.4	112.8
	販売用CD	1,387,202	7.6	99.3
	販売用DVD	961,164	5.3	103.7
	ゲーム	836,553	4.6	120.0
	リサイクル	157,696	0.8	114.1
	その他	1,064,884	5.8	108.5
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,551	0.0	—
	計	17,812,230	97.3	106.9
その他	外部顧客に対する売上高	491,071	2.7	98.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,848	0.0	0.0
	計	492,920	2.7	98.0
合計		18,305,150	100.0	106.7

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、電化製品、ブランクメディア、図書カード、賃貸不動産収入ほかであります。